

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 6 月 24 日 更新

事務事業名		健康づくり事業				☒ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	末永 大樹
	施 策	5	健康づくりの推進			所属課	健康ほけん課	担当者名	溝口 寛子
	施策の柱	19	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康づくり班	(内線)	1185
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 4	事業連番 11575	根拠法令	健康増進法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 24 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	1. 行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの定期学習会 (健康づくり推進員) 2. 職員が地域に出向いて健康教育を行なう (出前講座) 3. 健康づくりの必要性について考える機会として実施 (健康づくり講演会) 4. 会の開催 (健康づくり推進協議会) 5. 健康増進計画・食育推進計画の策定 (4年に1回)
【業務の流れ】	1. 健康づくり推進員学習会 ①企画 ②推進員への通知 ③準備 ④実施 ⑤他の事業との連携・調整 2. 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 3. 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価 4. 健康づくり推進協議会 ①委員の選定 (市民代表を含む) ②委員の委嘱 ③協議会の運営 ④会議録の公表 ⑤報償費・費用弁償の支払い
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・議会からは、国保療養給付費の高騰は市民の税負担が大きくなるという結果を招くため、医療費の抑制対策が必要であるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) ●健康教育出前講座: 4回実施、参加人数計74名 ●健康づくり推進協議会: 10月に開催した。(出席者12名) ●健康づくり講演会: 健康づくり推進員と市民を対象に12月に大腸肛門病センター高野病院から管理栄養士を講師に招いて実施した。(内容: 生活習慣病予防のための食生活 参加者: 45名)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 市民のニーズや健診結果等に基づいたテーマを設定し、健康づくり講演会を実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア: 教室の実施回数	回	【拡充事業】合志市第3次健康増進計画・食育推進計画策定による委託料の増
→イ: 参加者数	人	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	人	→ア: 市民の数(人口)
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
市民が健康づくりに関心を持つ。自分の健康を保持増進できるよう行動できる。	%	→ア:
	%	→イ: 日頃から体を動かすことに取り組んでいる市民の割合
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
健康の保持増進に大きく寄与する行動が「食習慣」と「運動習慣」であるため。合志市総合計画第2次基本構想第1期基本計画に基づき設定している。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	回			3	3	7	4	7	7	7	7
	イ	人			44	61	75	74	75	75	75	75
② 対象指標	ア	人			63,841	64,614	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457
	イ											
③ 成果指標	ア	%			0	0	0	0	0	0	0	0
	イ	%			48.7	60.2	70	59.7	70	70	70	70
投資 事業 入費 量 人件 費	財源 内訳	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円		4	11	33	23	53	27	27	27
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	(A) 事業費計	一般財源	千円		113	124	232	152	8,390	232	232	232
		(A) 事業費計	千円		117	135	265	175	8,443	259	259	259
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人		4	8	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間		363	430	625	250	625	625	625	625
		(B)人件費計	千円		1,419	1,636	2,490	910	2,490	2,490	2,490	2,490
トータルコスト(A)+(B)			千円		1,536	1,771	2,755	1,085	10,933	2,749	2,749	

事務事業名	健康づくり事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康ほけん課
-------	---------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 コロナ禍で事業名等縮小されていたため、教室の依頼があまりなかった。引き続き生活習慣改善に取り組めるようにアプローチする。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 健康づくり推進員活動の維持・活性化に向けて活動方法や内容を検討していく。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 健康教育の際は、対象者のニーズや特徴に合わせて内容を検討している。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和2年度から、こうし健康ステーションは高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業として実施している。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てている。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業委託で行っているため削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 教室の募集を広報などを通じて広く募集しているため、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 健康づくり推進員には市民の一員としての役割を担ってもらっており、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

健康教育や講演会の実施方法の検討が今後必要と考えられる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<